

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	小山市	代表者名	浅野 正富		
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0285-22-9304		
担当者役職	室長	担当者氏名	五月女 博英	連絡先E-mail	
住所	323-8686 栃木県小山市中央町一丁目1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	下山 紗代子
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	当市が本年度下半期にデジタル変革推進方針（DXビジョン）を策定するにあたり、DXビジョン策定のプロセスや他自治体事例を交えて助言をいただきました。 また、各課ヒアリングにおいては現状・把握のみならず、統計データや他自治体におけるDX推進事例を示して頂きながら、各課に対する業務改善のための助言を頂きました。 このヒアリングを通じ、各課が抱えている課題を可視化し、DX推進の機運醸成に繋がると同時に、今後のデジタル変革推進方針において検討すべき課題等が抽出できました。
アドバイザーへの要望事項	今回の各課ヒアリングから、各課が抱えている課題の整理を行い、デジタル変革推進方針に結びつけて行く方法について、ご助言いただきたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	令和5年11月14日	支援・助言（実地）	有	令和5年12月18日	1073
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和5年12月19日	支援・助言（実地）	8時30分	16時30分	60
				活動時間（分）	420
3-2. 派遣場所	会場名	小山市役所	最寄駅	小山駅	
	所在地	小山市中央町一丁目1番1号	最寄駅からの交通手段	徒歩10分	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員（管理監督職員・一般職員）	42人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	国のDX戦略推進計画、及び、小山市第3次情報化基本計画に基づき、自治体DX計画や単発的なデジタル化は推進しているものの、DXとしてのビジョンが明確ではなく、DXの方向性が謳われていないため、軸足がしっかりとしていないのが現状です。 そこで、本市の自治体DX戦略再構築のため、現状のDX推進状況について棚卸し、各課が抱えている課題を可視化して、今後の当市DXの進むべき方向性を明確化していくことが課題です。	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	本市の自治体DX戦略推進のため、DX推進に関わる職員同士の情報共有や関係構築により、DX推進の機運醸成を図り、デジタル化の方向性を適切に設定（デジタル変革推進方針の策定）することを目指します。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	原課ヒアリングを実施し、各課の現状・課題・小山市の強み・弱み等についてヒアリングを行うとともに、ヒアリング実施各課に対し、業務改善等の助言を頂きました。【ヒアリング実施課は添付資料05】	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	地域のデジタル化の推進にあたり、現地視察とその所管課等へのヒアリングを実施しました。各課の現状・課題等について各課ヒアリングを実施し、併せてアドバイザーより各課に対し業務に対する助言を頂きました。 各課(14課)ヒアリングによる現状・課題・意見等をマインドマップに集約していただき、方針策定の重要資料とすることができました。各課職員が普段の業務に忙殺され、意見交換を踏まえた相談・助言の機会がは殆どなかったため、実施自体が大きな成果となりました。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑤組織業務改善ができた 各課ヒアリングにより各課が抱えている課題を把握するとともに、各課に対しアドバイザーからの業務改善のための助言を頂きました。ヒアリングを基に作成した成果物(マインドマップ)を、今後のDXによる課題解決に結び付けていきたいと考えています。【成果物は別添04】
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	今回の支援では、14課とのヒアリング実施及び業務改善の助言をいただきました。前日と併せて、21課とのヒアリングにより、各課の現状や抱えている課題を把握することが出来ました。この結果を踏まえ、デジタル変革推進方針(DXビジョン)を策定します。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 今回のアドバイザー派遣の趣旨が、デジタル変革推進方針を策定するための原課ヒアリングのため。原課ヒアリングは今回にとどまらず今後も継続し、課題等について深掘りをしていく予定です。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	②次年度に予算化を図り推進する
事業の最終的な目指す姿	本年度は、国や県の各種アドバイザー派遣制度を活用することにより、専門的な知見を持つアドバイザーの助言を得ながら、本市のDXビジョンの再構築を進め、来年度は外部DX人材を活用することで、本市のDX施策を具体化していきたい。	

なお<その他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

